

凌霜

りようそう

郡上市の教育理念

【凌霜の心で拓く明日の郡上市】

「凌霜の心」＝高い志と不屈の精神・感謝の心

郡上市教育委員会指定 大中小学校公表会

平成29年3月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、教育委員会による「コミュニティスクール（学校運営協議会制度を導入した学校）」の設置が努力義務になりました。学校運営協議会は、地域住民や保護者等から構成されることから、地域の声を生かし、学校と地域が一体となって「地域とともにある学校づくり」を推進することが期待されます。なお、令和3年度より市内全小・中学校がコミュニティスクールとしてスタートしています。

読み聞かせからスタート

大中小学校では、毎週月曜日の朝に「読み聞かせボランティア」の地域のみなさんが、子どもたちに本を読み聞かせてくれます。公表会当日の朝も「読み聞かせしようか？」と同ボランティアのみなさんが伝えると、子どもたちから「やった〜！」と声が上がりました。

こうした朝の読み聞かせの様子は、大中小学校では日常となっており、子どもたちは毎回楽しみにしています。



▲「読み聞かせ」に真剣な子どもたち

地域のみなさんが大活躍！

公表会当日は、担任の先生に加え、40人の「大中小パートナー

ー（※）」のみなさんが講師として授業に協力しました。

4年生の総合的な学習「食品ロスについて考えよう」の授業では、同パートナーが自前のコンポストを持参し、子どもたちに紹介しました。子どもたちは実際にコンポストに触れることで、食品ロスについてじっくり考えることができました。

※学校の環境整備等のサポートや教育活動（授業や体験活動等に協力してくれるみなさん



▲総合的な学習「食品ロスについて考えよう」

大中の子どもたちのため 大中の地域のため

大中小学校では、地域の大人たちが子どもたちに関わることで、子どもたちの成長や変化に

つながっています。大人の姿を見て学ぶことが、子どもたちの新たな活動や、自発的な動きへとつながりました。

地域のみなさんに親しみをもち、家族でもない、学校の先生でもない、地域の大人との自然なやりとりや心の交流が、子どもたちにとって、学習だけではなく多様な豊かな体験をもたらしています。そして、何より交流の時間は、大人にも子どもにも、楽しく温かい気持ちを与え、たくさん笑顔を生み出しています。

「大中の子どもたちのため、そして大中の地域のためにゆるく長くつながる」という目標を共有し、大中小学校に関わる全ての大人が、子どもたちとともに、今日も元気に活動しています。

問 教育委員会学校教育課

67・1468



▲大中小コミュニティスクール

石徹白小学校 開校150周年記念事業

明治7年に開校した石徹白小学校は、令和6年9月に150年を迎えます。節目となる今年、実行委員会が中心となり、地域や小学校の歴史と未来を考える記念事業が実施されます。

現在は、記念誌の製作や11月2日に開催を予定している記念式典等の準備が進められています。

石徹白小学校の同窓生をはじめ、関係する多くの方々に、関係者の意義や実施を知ってもらうため、市内在住の関係者に案内を送付しました。案内が届いていない人は、実行委員会事務局まで連絡をください。

問 石徹白小学校150周年

記念事業実行委員会事務局
(石徹白小学校内)

担当…大前

0575・86・3011



▲石徹白小学校 運動会